



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田村 裕保 (TEL) 03-3278-4333
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	69,694	△21.5	6,848	△36.6	8,868	△32.6	5,854	△29.1
2020年3月期第3四半期	88,737	△3.8	10,799	△18.2	13,166	△16.3	8,258	△15.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 8,480百万円(△14.5%) 2020年3月期第3四半期 9,919百万円(62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	49.58	—
2020年3月期第3四半期	68.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	215,409	172,177	68.5	1,254.39
2020年3月期	216,773	170,947	66.1	1,203.34

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 147,545百万円 2020年3月期 143,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	△17.7	10,300	△18.3	13,000	△17.3	8,600	△9.0	73.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	132,604,524株	2020年3月期	132,604,524株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	14,981,221株	2020年3月期	13,574,125株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	118,085,407株	2020年3月期3Q	120,126,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	9
	(セグメント情報等)	10
3.	補足情報	12
	(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	12
	(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、社会・経済活動が大きく制限され停滞するなど、極めて厳しい状況となりましたが、経済活動の再開や経済対策に伴い緩やかな回復基調となっております。しかしながら、米国や欧州を中心に同感染症の拡大が続いているなど依然終息の目処が見られず予断を許さない状況が続いております。わが国経済におきましても、緊急事態宣言解除後の経済活動の再開に伴い、個人消費や企業収益に持ち直しの兆しも見られましたが、昨年末からは同感染症の流行が再拡大するなど、先行き不透明な状況です。

このような状況のなか、当社グループの主要な取引先であります自動車業界では、世界的な需要の減速により、工場の操業停止や生産調整が相次ぎ、自動車生産台数は減少いたしました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においても、鋼材需要の後退を受け減産となるなど、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第3四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期累計期間 (2021年3月期)	69,694	6,848	8,868	5,854
前第3四半期累計期間 (2020年3月期)	88,737	10,799	13,166	8,258
増減金額	△19,042	△3,950	△4,297	△2,403
増減率	△21.5%	△36.6%	△32.6%	△29.1%

売上高は696億94百万円（前年同期比21.5%減）となりました。依然厳しい状況に変わりはありませんが、第1四半期連結会計期間207億93百万円、第2四半期連結会計期間235億24百万円、当第3四半期連結会計期間253億76百万円と回復基調で推移いたしました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が16.1%減、装置事業が34.5%減、加工事業が20.0%減、その他が28.2%減といずれも減収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が18.1%減、アジアが28.4%減、欧米が19.1%減といずれも減収で推移しております。

営業利益は68億48百万円（前年同期比36.6%減）と、当第3四半期連結会計期間は売上高の回復に伴い改善が見られました。**経常利益**は88億68百万円（前年同期比32.6%減）、**親会社株主に帰属する四半期純利益**は58億54百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の**総資産経常利益率**（ROA）は4.1%（年換算5.5%）と前年同期と比べ1.9ポイント減少いたしました。また、**自己資本利益率**（ROE）は4.0%（年換算5.3%）と前年同期と比べ1.8ポイント減少いたしました。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で8億5百万円程度の減収、営業利益で46百万円程度の減益となっています。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率
薬品事業	34,813	29,194	△5,618	△16.1%	5,783	4,495	△1,287	△22.3%
装置事業	16,427	10,754	△5,672	△34.5%	252	32	△219	△86.9%
加工事業	34,608	27,671	△6,936	△20.0%	5,802	3,281	△2,521	△43.5%
その他	2,888	2,074	△814	△28.2%	52	108	56	106.3%
調整額(消去)	—	—	—	—	△1,092	△1,069	22	—
連結損益計算書計上額	88,737	69,694	△19,042	△21.5%	10,799	6,848	△3,950	△36.6%

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業区分を一部変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①薬品事業

売上高は291億94百万円(前年同期比16.1%減)となり、営業利益は44億95百万円(前年同期比22.3%減)となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、国内では鉄鋼・自動車業界などの取引先で減産調整が行われ、海外においても政府要請による工場シャットダウンを余儀なくされるなど、厳しい状況で推移しました。当第3四半期連結会計期間は、鉄鋼・自動車業界などの取引先において生産好転がみられましたが、減収減益で推移しました。

②装置事業

売上高は107億54百万円(前年同期比34.5%減)となり、営業利益は32百万円(前年同期比86.9%減)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。大型案件の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、現場行程の遅れや受注案件においても顧客の設備投資見直しにより売上計上時期の遅れや為替変動による収益性の悪化が見込まれております。

③加工事業

売上高は276億71百万円(前年同期比20.0%減)となり、営業利益32億81百万円(前年同期比43.5%減)となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内の一部工場での一時休業の実施や、海外では政府要請による工場シャットダウンなどにより、生産活動が制限されたことにより減収減益で推移しました。当第3四半期連結会計期間は、国内では主要取引先である自動車部品メーカーの生産好転により回復傾向にありますが、タイや米国など海外では収益面での回復が遅れております。

④その他

売上高は20億74百万円(前年同期比28.2%減)となり、営業利益は1億8百万円(前年同期比106.3%増)となりました。当事業部門は、為替の影響を受けない国内を中心に、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを営んでおります。また、ライフサイエンス事業として、一般消費者向けに抗菌剤Pal-feelの販売を開始しました。併せて、医療機器への参入を進めており、自社開発のコーティング技術により、組織付着を低減した電気メス部品を上市し、2020年“超”モノづくり部品大賞「健康福祉・バイオ・医療機器部品賞」を受賞しました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
減価償却費	4,730	4,154
設備投資額	6,682	3,733
研究開発費	1,680	1,475
有利子負債	2,003	1,628

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し13億64百万円減少し2,154億9百万円となりました。流動資産は43億49百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が12億29百万円、受取手形及び売掛金が26億43百万円それぞれ減少いたしました。固定資産は29億85百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が23億63百万円減少した一方で、投資その他の資産が投資有価証券の時価上昇などにより53億90百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し25億94百万円減少し432億31百万円となりました。流動負債は39億97百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が31億94百万円減少いたしました。固定負債は14億3百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価上昇に伴い繰延税金負債が16億円増加いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し12億30百万円増加し1,721億77百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が28億95百万円、自己株式が13億63百万円、その他有価証券評価差額金が45億93百万円それぞれ増加した一方で、為替換算調整勘定が19億57百万円、非支配株主持分が30億80百万円それぞれ減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は68.5%と前連結会計年度末と比較し2.4ポイント増加するとともに、1株当たり純資産は1,254円39銭と51円5銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が懸念され、停滞した経済活動が本格的に回復するには時間を要するものと見込まれます。

当社グループの事業環境につきましては、自動車生産台数や鋼材需要の増加など明るい兆しも見られますが、今後の新型コロナウイルス感染症の動向によっては不透明な状況が続くものと想定しております。

なお、2021年3月期の連結業績予想に関しましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

【通期連結業績（2021年3月期）の見通し】

(単位：百万円)

	2021年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第3四半期)
売上高	98,000	△17.7%	71.1%
営業利益	10,300	△18.3%	66.5%
経常利益	13,000	△17.3%	68.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,600	△9.0%	68.1%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき作成したものであり、新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因により変動する可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,992	58,763
受取手形及び売掛金	36,420	33,776
有価証券	2,676	2,449
商品及び製品	2,995	2,742
仕掛品	1,620	2,185
原材料及び貯蔵品	5,174	4,717
その他	3,614	3,391
貸倒引当金	△1,460	△1,342
流動資産合計	111,034	106,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,419	23,469
機械装置及び運搬具(純額)	16,819	16,179
土地	16,589	16,469
建設仮勘定	4,515	2,346
その他(純額)	2,133	1,647
有形固定資産合計	62,476	60,112
無形固定資産	2,489	2,448
投資その他の資産		
投資有価証券	29,245	35,253
退職給付に係る資産	77	8
繰延税金資産	2,268	1,636
その他	9,285	9,396
貸倒引当金	△103	△131
投資その他の資産合計	40,773	46,163
固定資産合計	105,739	108,724
資産合計	216,773	215,409
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,473	15,278
1年内返済予定の長期借入金	511	440
未払法人税等	1,843	1,021
賞与引当金	2,447	1,082
役員賞与引当金	95	60
その他	8,012	9,503
流動負債合計	31,384	27,387
固定負債		
長期借入金	983	830
役員退職慰労引当金	204	222
退職給付に係る負債	9,819	9,869
繰延税金負債	1,647	3,248
その他	1,786	1,673
固定負債合計	14,441	15,844
負債合計	45,826	43,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,300	4,492
利益剰余金	137,710	140,605
自己株式	△10,388	△11,752
株主資本合計	136,183	137,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,208	11,801
繰延ヘッジ損益	55	0
為替換算調整勘定	△244	△2,201
退職給付に係る調整累計額	31	38
その他の包括利益累計額合計	7,051	9,639
非支配株主持分	27,713	24,632
純資産合計	170,947	172,177
負債純資産合計	216,773	215,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	88,737	69,694
売上原価	57,816	45,491
売上総利益	30,920	24,203
販売費及び一般管理費	20,121	17,354
営業利益	10,799	6,848
営業外収益		
受取利息	250	229
受取配当金	664	587
受取賃貸料	590	583
持分法による投資利益	1,029	366
補助金収入	34	470
その他	532	692
営業外収益合計	3,101	2,930
営業外費用		
支払利息	57	47
賃貸費用	231	227
為替差損	137	323
その他	308	311
営業外費用合計	734	910
経常利益	13,166	8,868
特別利益		
固定資産売却益	211	60
投資有価証券売却益	81	776
その他	—	9
特別利益合計	292	846
特別損失		
固定資産除売却損	226	65
投資有価証券売却損	—	39
その他	9	6
特別損失合計	236	110
税金等調整前四半期純利益	13,221	9,604
法人税等	3,466	2,787
四半期純利益	9,754	6,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,495	962
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,258	5,854

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	9,754	6,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,692	4,864
繰延ヘッジ損益	1	△61
為替換算調整勘定	△1,227	△2,992
退職給付に係る調整額	3	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△305	△156
その他の包括利益合計	164	1,663
四半期包括利益	9,919	8,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,429	8,443
非支配株主に係る四半期包括利益	1,490	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については定額法)を採用していましたが、当連結会計年度より定額法に変更いたしました。

この変更は、中期経営計画の策定を契機に減価償却方法を検討した結果、今後生産設備が長期にわたり安定的に稼働することが見込まれ、投資効果が平均的に生ずると見込まれることから、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが、今後のグループの経営実態を適正に反映するものと判断いたしました。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の営業利益は358百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は386百万円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	34,813	16,427	34,608	85,848	2,888	88,737	—	88,737
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	899	208	15	1,123	133	1,257	△1,257	—
計	35,713	16,635	34,623	86,972	3,022	89,994	△1,257	88,737
セグメント利益又は 損失(△)	5,783	252	5,802	11,838	52	11,891	△1,092	10,799

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,092百万円には、セグメント間取引消去329百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,421百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	29,194	10,754	27,671	67,620	2,074	69,694	—	69,694
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	648	264	27	939	74	1,014	△1,014	—
計	29,842	11,018	27,698	68,559	2,148	70,708	△1,014	69,694
セグメント利益又は 損失(△)	4,495	32	3,281	7,809	108	7,918	△1,069	6,848

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,069百万円には、セグメント間取引消去132百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,201百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

第1四半期連結会計期間から、事業区分を見直したことに伴い、一部の装置事業およびその他に含まれていた運送事業・金属板試験片製造・販売事業について薬品事業へ変更し、一部の薬品事業について加工事業へ変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ薬品事業で145百万円、装置事業で6百万円、加工事業で189百万円、その他で8百万円増加しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が8百万円減少しております。

3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

2021年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 2020年4月～6月	第2四半期 2020年7月～9月	第3四半期 2020年10月～12月	第4四半期 2021年1月～3月	通算 2020年4月～2021年3月
売上高	20,793	23,524	25,376		69,694
売上総利益	7,138	7,234	9,830		24,203
営業利益	1,199	1,764	3,884		6,848
経常利益	1,554	2,893	4,420		8,868
税金等調整前当期純利益	1,537	3,609	4,456		9,604
親会社株主に帰属する 当期純利益	716	2,221	2,916		5,854
総資産	211,080	214,504	215,409		—
純資産	168,226	171,688	172,177		—

2020年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 2019年4月～6月	第2四半期 2019年7月～9月	第3四半期 2019年10月～12月	第4四半期 2020年1月～3月	通算 2019年4月～2020年3月
売上高	30,696	29,270	28,769	30,291	119,028
売上総利益	10,733	10,332	9,855	9,290	40,211
営業利益	3,957	3,652	3,188	1,802	12,601
経常利益	5,146	4,116	3,903	2,557	15,723
税金等調整前当期純利益	5,244	4,040	3,936	2,338	15,560
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,421	2,454	2,383	1,190	9,449
総資産	220,381	216,275	220,754	216,773	—
純資産	169,438	170,655	172,474	170,947	—

2019年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 2018年4月～6月	第2四半期 2018年7月～9月	第3四半期 2018年10月～12月	第4四半期 2019年1月～3月	通算 2018年4月～2019年3月
売上高	28,091	31,896	32,251	36,968	129,207
売上総利益	10,517	10,867	11,451	11,141	43,978
営業利益	3,998	4,197	5,002	3,825	17,023
経常利益	5,066	4,979	5,690	4,393	20,130
税金等調整前当期純利益	5,043	4,949	5,687	3,813	19,492
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,829	3,184	3,771	1,638	11,424
総資産	218,642	220,088	220,715	218,818	—
純資産	161,987	165,729	166,166	166,759	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
薬品事業	日本	22,635	19,171	△ 3,463	△15.3%	3,424	2,577	△ 846	△24.7%
	アジア	11,451	9,482	△ 1,968	△17.2%	1,792	1,333	△ 459	△25.6%
	欧米	726	539	△ 186	△25.7%	231	150	△ 81	△35.2%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	899	648	△ 251	△28.0%	334	434	99	29.8%
	計	35,713	29,842	△ 5,870	△16.4%	5,783	4,495	△ 1,287	△22.3%
装置事業	日本	7,693	5,918	△ 1,774	△23.1%	84	△ 81	△ 165	△196.0%
	アジア	8,149	4,522	△ 3,627	△44.5%	△ 57	89	147	256.6%
	欧米	584	313	△ 271	△46.4%	71	△ 58	△ 130	△182.0%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	208	264	56	27.1%	153	83	△ 70	△46.0%
	計	16,635	11,018	△ 5,616	△33.8%	252	32	△ 219	△86.9%
加工事業	日本	20,633	16,915	△ 3,717	△18.0%	4,104	3,024	△ 1,079	△26.3%
	アジア	8,553	6,161	△ 2,391	△28.0%	1,324	418	△ 905	△68.4%
	欧米	5,421	4,593	△ 828	△15.3%	259	△ 297	△ 556	△214.5%
	セグメント間の内部売上高又は振替高	15	27	11	72.2%	114	134	20	17.7%
	計	34,623	27,698	△ 6,925	△20.0%	5,802	3,281	△ 2,521	△43.5%
報告セグメント計		86,972	68,559	△ 18,412	△21.2%	11,838	7,809	△ 4,029	△34.0%
その他	日本	2,888	2,074	△ 814	△28.2%	52	115	62	119.3%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の内部売上高又は振替高	133	74	△ 59	△44.1%	△ 0	△ 6	△ 6	—
	計	3,022	2,148	△ 873	△28.9%	52	108	56	106.3%
合計		89,994	70,708	△ 19,285	△21.4%	11,891	7,918	△ 3,972	△33.4%
調整額		△ 1,257	△ 1,014	243	19.3%	△ 1,092	△ 1,069	22	2.1%
連結損益計算書計上額		88,737	69,694	△ 19,042	△21.5%	10,799	6,848	△ 3,950	△36.6%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
日本	57,441	46,284	△ 11,157	△19.4%	7,745	5,787	△ 1,957	△25.3%
アジア	28,203	20,371	△ 7,832	△27.8%	3,060	1,851	△ 1,209	△39.5%
欧米	6,743	5,449	△ 1,293	△19.2%	563	△ 207	△ 770	△136.9%
合計	92,388	72,105	△ 20,283	△22.0%	11,368	7,431	△ 3,937	△34.6%
調整額	△ 3,651	△ 2,411	1,240	34.0%	△ 569	△ 582	△ 13	△2.3%
連結損益計算書計上額	88,737	69,694	△ 19,042	△21.5%	10,799	6,848	△ 3,950	△36.6%

※1 第1四半期連結会計期間から、事業区分を見直したことに伴い、一部の装置事業およびその他に含まれていた
運送事業・金属板試験片製造・販売事業について薬品事業へ変更し、一部の薬品事業について加工事業へ変更い
たしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載
しております。

※2 「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却
方法を変更しております。この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益
が、それぞれ薬品事業で145百万円、装置事業で6百万円、加工事業で189百万円、その他で8百万円増加してお
ります。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が8百万円減少しております。